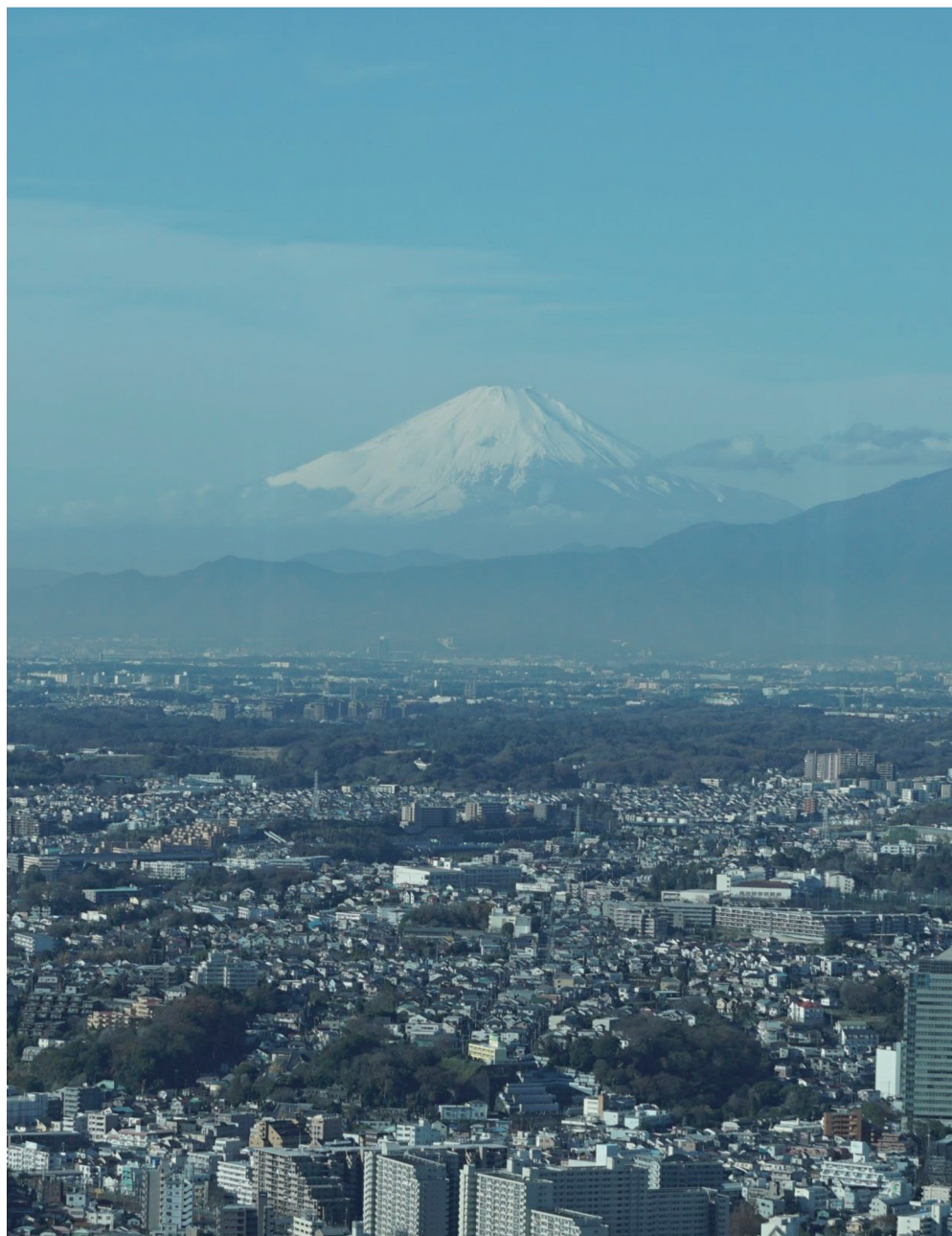




ランドマークタワー展望フロアより富士山を望む



よこはま市工連



No.79

目次

新年のごあいさつ	2
市工連賀詞交歓会を開催	3
写真で綴る平成30年	4
地域工業会会長へのインタビュー	7
横浜青年経営者会が市長とのぬくもりトークに参加	8
地域工業会だより	10
横浜青年経営者会だより	21
2019年度新入社員合同研修のご案内	22

発刊日：平成31年1月31日
 編集・発行：一般社団法人横浜市工業会連合会
 〒231-0023
 横浜市中区山下町2番地
 産業貿易センタービル 2階
 TEL. 045-671-7051
 FAX. 045-671-7321
 URL: <http://www.y-shikouren.or.jp/>



新年のごあいさつ

(一社)横浜市工業会連合会

会長 榎本 英雄



平成 31 年の年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

昨年暮れで、景気拡大の長さがいざなぎ景気を超え戦後二番目となりましたが、我々の実感はゼロといったところ。いよいよ今年の 4 月で平成という時代が終わり新しい年号となりますが、平成という時代を一言でいえばインターネットの力が世界を変え、IT 革命が進み世界各国の物理的距離も縮まり、経済活動のグローバル化が進んだ時代と言えます。

奇しくもこのタイミングで、グローバル化の反動といえる事象が世界で目立つようになってきました。

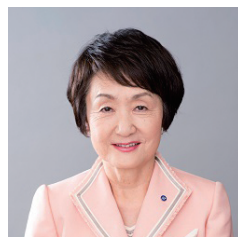
米中の貿易戦争はとどまるところを知らず、5G などの次世代通信も含めての世界の覇権争いが激化しています。

また、英国の EU 離脱、極右の台頭、難民問題や日韓の対立をはじめ緊張状態が続いています。

我が国に目を転じますと急速な少子・高齢化社会を迎え生産年齢人口(15 歳 - 65 歳)が減少し、人手不足が顕著になっています。新聞などの報道では、20 年後には 1400 万人減少するという恐るべき数字がでていました。そうすると昨年暮れに成立した改正入国管理法などは焼け石に水といったところでしょうか。今、我々中小企業が直面する最大の危機は人手不足と事業承継といわれています。

もっともこうした厳しい時代であればこそ、生産効率の向上や女性、高齢者などの対応でうまく乗り切れると私は信じています。

本年も市工連では販路拡大や人材確保・育成の取組みのほか、メルマガや機関誌などの発行、会員情報交換会の開催、施設見学会の実施などにより、地域を超えた会員間の交流の機会を増やし活発な情報交換ができるよう努力しますので、よろしくご協力をお願いいたします。



平成31年の年頭にあって

横浜市長 林 文子



あけましておめでとうございます。皆様が健やかに新年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。今年は横浜開港 160 周年を迎え、「第 7 回アフリカ開発会議」や「ラグビーワールドカップ 2019™」など、国際都市・横浜の存在感を一層高める催しが相次ぎます。また、横浜港の新港 9 号客船ターミナルと大黒ふ頭の客船受入施設がオープンを迎え、来年の稼働を目途とする新市庁舎やパシフィコ横浜ノースの整備も進んでいます。皆様のお力添えを得て、横浜の更なる飛躍につながる年にする決意です。

昨年策定した「中期 4 か年計画 2018 ~ 2021」では、国に選定された「SDGs 未来都市」、「自治体 SDGs モデル事業」として、あらゆる施策に SDGs の視点を取り入れています。また、中小企業や商店街の皆様への支援、I・TOP 横浜、LIP 横浜などを通じたオープンイノベーションの推進により、横浜経済に一層の活力を創り出していきます。横浜の持続的な成長に向けた重要な一年、変わらぬ御支援をお願いいたします。



市工連賀詞交歓会を開催

平成31年1月10日（木）午後4時からホテル横浜ガーデンにおいて市工連賀詞交換会が開催されました。

榎本会長の新年の挨拶の後、林横浜市長、松本横浜市会議長のご祝辞をいただき、恒例の「すぐれたアイデア提案者表彰」を行いました。

自ら考え、前向きに仕事に取り組んでいる被表彰者の皆様に敬意を表します。

今年は例年にも増して多くの会員の皆様に出席いただき、大いに交流が深まりました。

「すぐれたアイデア提案者表彰」被表彰者
(50音順・敬称略)

企業名	氏名	アイデアの名称
海洋電子工業株式会社	長谷川 健	レーダ整備作業の品質確保及び効率化
海洋電子工業株式会社	堀江 裕也	装置構成品模擬ソフトウェアの移植
株式会社グリーン	佐々木 辰彦	容易に増設可能な自動消火設備の考案
竹澤工業株式会社	小澤 真也	新規受注製品における初号機の製作工数分析による工数低減
株式会社吉岡精工	五十嵐 将哉	アルミ製ダイヤ電着基台の製造工程における不良率の削減



林経済局長、榎本市工連会長と被表彰者の皆様





写真で綴る平成30年

テクニカルショウ
ヨコハマ 2018
2月7日～9日
パシフィコ横浜
展示ホールA・B・C

新技術・新製品発表、販路拡大、
ニーズ把握、新規取引獲得、技術
の交流、情報の発信・収集・交換
の場として開催。商談につながっ
たとの声も聞かれました。

入場者 36,056 人
参加企業 800 社
出展小間数 621 小間

よこはまものづくりゾーン
出展企業 88 社



受・発注商談会（横浜会場）
2月7日
パシフィコ横浜展示ホール
アネックスホール

参加 382 社
商談件数 1,247 件



企業紹介フェア
2月8日
パシフィコ横浜展示ホール
アネックスホール

県内の高校生を対象にものづ
くりや製造業に対する理解を
深めるため、出展者による講演と
テクニカルショウ ヨコハマ見学
会を実施。高校生も講師のブース
などで熱心に質問していました。

参加者
県立商工高校 231 人



講師アートワーク（株）
白須 大吉氏



講師（株）オースズ
鈴木 瑞貴氏



新入社員合同研修
4月12日～13日
帆船日本丸・訓練センター

新入社員に必要なマナー等研修や帆船日本丸でなければできない体験研修（マストに登る訓練、カッター訓練等）を通してチームワークの重要性や協調性、チャレンジ精神を養います。

「座学ではコミュニケーションの大切さを、船上研修では協調性の重要性を実感した」などの感想が寄せられました。

参加者 20社 69人
〔男子55人〕
〔女子14人〕



新市庁舎建設現場見学会
5月18日

新市庁舎が完成すると横浜市の新たな都心としての役割が高まっていきます。そこで、新市庁舎の建物及び立地する北仲通の今後について概要説明を受けるとともに、建設現場を見学しました。

参加者 19人

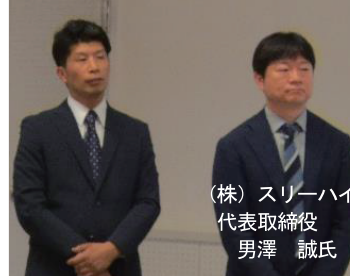


出前講座
5月30日
県立東部総合職業技術校

経営者や技術者が学校に出向き、中小企業で働くことや求める人材、自身の経験等を話し、中小企業についての理解や、働くことの大変さ、楽しさなどを伝え、進路選択での視野拡大を目的としています。

参加者 55人

横浜高周波工業（株）
蒲 雄一郎氏



（株）スリーハイ
代表取締役
男澤 誠氏

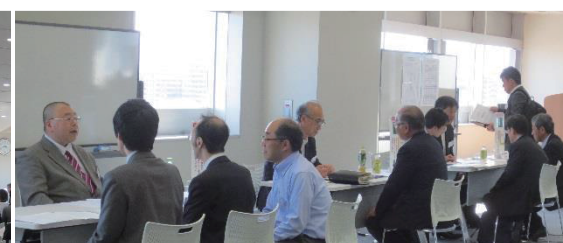


**学校と企業の
就職に関する懇談会**
6月12日
神奈川中小企業センター

市工連会員企業と高等学校等の進路指導担当教諭にご参加いただき、地元企業への就職を図ります。

多くの学校、企業が今後もこの懇談会に出席したいというアンケート結果でした。

参加企業 50社
参加校 16校



会員情報交換会
7月25日
ホテル横浜ガーデン

全会員企業の皆様を対象に地域工業会の枠を越え、会員相互の交流や新たなビジネスチャンスの創出の場とする、情報交換会を開催しました。

参加者 69人



**横浜環状南線
工事現場見学**
10月23日

釜利谷ジャンクションと国道1号線を結ぶ、延長約8.9kmの自動車専用道路で、全線の約7割がトンネルなどの地下構造。この完成によって様々な効果が見込まれます。

参加者 15人



横浜市への要望書提出
10月30日
横浜市庁舎

榎本市工連会長のほか、各地域工業会・事業会等の会長など代表者で横浜市庁舎を訪問し、中小企業の現状と課題について取りまとめた「2019年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を榎本会長から林文子横浜市長に手渡しました。



**新入社員等若手社員の
フォローアップ研修**
11月7日
横浜産貿ホール

新入社員から入社5年目までの若手社員を対象に、入社後を振り返り、身についた能力を検証し、不足しているところや今後の課題を見つけ、これからの仕事へのヒントを学びました。

参加者 4社 7人



工場見学と出前講座
11月28日
株式会社 オウミ

横浜北工業会の会員企業の工場を見学し、経営者から中小企業で働くことや求める人材等について話を聴きました。

参加者
県立東部総合職業技術校 49人





地域工業会会長へのインタビュー

神奈川工業会会長 桐ヶ谷 修幸氏

会社の経営について

経営者として「感謝の気持ちを忘れず創造力を働かせ向上心を持って誠心誠意迅速に実行に移す」をモットーとしています。我々零細企業では人材確保ができた企業が生き残れると考え、ベトナム実習制度を利用して4年が経ちます。実習生は3年でベトナムに戻り日本で覚えたことを活かすことを目的としています。3年経過の実習生をベトナム本国で受け入れるべく、平成27年の10月にベトナムにおいて現地法人を立ち上げました。昨年9月から日本企業が受注した機械部品、製缶、鋳物等を現地エンジニアに管理をさせローカルの企業で製作を行い、日本に輸出しています。受注量の増加が見込めるようになれば、現地に工場をつくりたいと思っています。また、現地法人を起ち上げる方の手伝いができればと思い、ハノイ市内の日本企業が多く集まる街にレンタルオフィスも昨年12月にオープンさせることができました。



神奈川工業会について

会長として組織をしっかりと作りたいとの思いで、副会長を決め5つの委員会の人選をすすめ、前期からスタートした青年部「神青会」を加えて新体制がスタートしました。また、今まで神奈川工業会を支えてくださった顧問、相談役の方々との懇親のためにシニア会を企画していきます。これからは魅力のある会づくりに尽力します。魅力があれば必然的に人も集まります。後継者のいる企業は、神青会で活動していただきたい。若さにはパワーや色々な発想があります。仲間同士お互いを磨き上げ、絆を深めていけば素晴らしい神奈川工業会に発展するはずです。

自身について

ハーレを3台所有していますが、ツーリングに行く時間がとれません。富士スピードウェイでは、車の走行会にも参加します。マリッジットで横浜港を滑走、久里浜や千葉の富津に行ったりもします。昨年の夏はパドルサーフィンを始めました。今年は初孫が生まれ来年には2人目ができる予定ですが、可愛い何てものではないですね。ラインで写真と動画を送ってくるのが楽しみです。自転車に始まり、バイク、車と自分でいじるのが好きで部分的な交換、修理を行ってきましたが、それが今の自分に繋がっているのではないのでしょうか。

市工連事務局の紹介

今回は、一般社団法人横浜市工業会連合会（市工連）の事務局を紹介させていただきます。

「市工連とは」

皆様の所属する地域工業会・事業会のように、なじみがないかもしれませんが、市工連は、地域工業会の横断的連合組織として昭和59年3月に設立されました。事務局は、山下公園前の産業貿易センタービルの2階。同じフロアに神奈川県パスポートセンターがあります。実施している事業については4～6ページをご覧ください。

市工連事務局では、5つの委員会の下、会員の皆様にとってお役に立つ事業などを実施しています。

山下公園近くにおいでの際は、どうぞ事務局にお立ち寄りください。

「事務局の職員」

事務局には事務局長以下5人の職員がいます。

事務局長は川崎圭子専務理事。市工連の役員と兼務しています。森久保誠総務部長は川崎専務理事とともに業務全般に関わっています。事務局の中で一番キャリアの長い斎藤実枝子課長は、事業・



前列左から 川崎専務(事務局長) 森久保総務部長
後列左から 斎藤課長 石井課長 伊澤主事

企画委員会、雇用・環境委員会を担当し、各種事業の企画・運営と試作型賃貸スペースの鳥浜トライ&トライアルステージを担当しています。石井孝昌課長は、広報・産学委員会と展示会場の産貿ホール（マリネリア）を担当しています。伊澤礼子主事は総務委員会、政策委員会を担当するとともに、庶務・経理を中心とした法人の内部事務を担っています。

横浜青年経営者会が市長とのぬくもりトークに参加

～「会員企業の魅力発信の取組」をテーマに話し合いました～

**横浜青年経営者会は、
「魅力ある各社の取組を会員間にて情報交換、共有しあい共に学びあえる会」であり
続けることを目指しています。**

10月9日、横浜青年経営者会の中から、メンバー12名が林文子横浜市長と青年経営者会の活動や個々の企業で行っている魅力発信の取組について意見交換を行いました。当日参加した企業の取組内容について一部ご紹介します。



「女性が活躍しやすい職場づくり」

株式会社オースズ

短時間勤務や週休3日制の導入、急な休みをカバーできる人員体制を整えました。

また、快適な職場づくりとして、トイレや作業チェアの一斉更新と更衣室の全面改装を行い、男女問わず働きやすい職場環境を構築しました。

「地域貢献—保育事業参画」

メルビック電気株式会社

地域貢献活動として、会社の敷地を活用して、今年4月に保育園が開園し、待機児童の解消につながりました。

また、地域の方や園児の協力をいただいて、保育園前の空き地に花壇を作りました。

毎月1日には、近隣の企業の皆様と歩道の植込みの清掃活動を行っています。

「町工場の産休・育休制度積極的活用」

有限会社本間製作所

従業員が人として胸を張って生きることが出来る企業を目指しています。

出産や育児、介護の制度を充実させるとともに、様々な給付金制度を整えました。

「社員教育制度」

株式会社神奈川警備保障

従業員の心の悩みなどの問題の解決に力を入れ

ており、コミュニケーションの活性化を目的とした社員研修を取り入れました。この研修の導入により、にぎやかで居心地の良い会社づくりを進めることができました。

今後、他社でも研修が実施され、横浜市内で働く方々が元気になることができるように力になりたいです。

「障害者の積極的雇用」

株式会社羽後鍍金

私の職場では、障害者の積極的雇用を推進しており、各自の能力に合った様々な部署で健常者と一緒に活躍してもらっています。

障害者と健常者が共に働くことで、社内のコミュニケーションの活性化や社員の仕事に対する満足度の向上に繋げることができています。

「社員の資格取得助成制度」

株式会社景泉機器

平成28年から社員の技術系資格の取得に向けた講義や実習を始め、これまでに3名の社員が資格を取得することができました。

会社全体で社員のチャレンジを後押しすることで、社員全体の活気やモチベーション向上に貢献しています。



「社員の家族向け—こども参観日、かぞく参観日」

株式会社ハルツ

社員の家庭での地位向上を目的とした「こども参観日・かぞく参観日」といったイベントを開催しています。

イベントを通じて、社員の家族に会社のことを知ってもらうとともに、家族や会社がお互いに感謝し合い、絆を再構築することができています。

「会員企業魅力向上のための施策作りのバックアップ」

社会保険労務士事務所古間屋

社会保険労務士として、安心して働ける環境の整備ややりがいを感じて働ける仕組みづくりの支援を行っています。今後も企業の魅力が向上し、従業員の定着や地域の雇用が促進され、経済の発展に寄与することを目指してまいります。

「町工場発自社商品『IBRASS』の開発」

株式会社ミナミ技研

シンボリックな自社商品として、パイプ曲げ加工の技術で製作した、楽器の形をしたスピーカー「IBRASS(アイブラス)」の開発を始めました。開発途中ではありますが、国内をはじめ、海外から良い反響をいただいています。

今後も町工場のブランドをどんどん横浜市から発信していきたいです。

「町工場発自社商品『archelis』の開発」

株式会社ニッター

手術での医師の立ち作業の負担を軽減し、医師のパフォーマンスの向上を目的とした商品、歩ける椅子「archelis (アルケリス)」を開発しました。

今年10月には、2018グッドデザイン賞のベスト100に選ばれました。

今後も横浜発の医療向け製品づくりを通して、より質の高い未来をつくってまいります。



アルケリス
「archelis」

「企業連携『YOKOHAMA MAKERS VILLAGE』の活動」

株式会社第一鉸製作所

横浜市内の製造業10社が集まったグループ「ヨコハマメーカーズヴィレッジ (YMV)」では、各

社の技術を組み合わせたものづくりを手掛けています。

平成29年からは、デザインとものづくりの融合に挑戦し、イタリア・ミラノで開催される世界最大デザイン展示会「ミラノサローネ」にフラワーベース(花器)のコレクションを出展しました。

市長コメント

本日は、新たな挑戦に取り組んでおられる皆様のお話を伺い、大変感銘を受けました。各社の様々なテーマで行われている企業の魅力発信の取組は、大変素晴らしく、皆様がこれまでに培われた経験や視点が全て詰まっており、まさに今の企業に求められる取組なのではないかと思いました。皆様のように信念をもって、企業間同士のコミュニケーションや人の心を大切にすることで、中小企業における様々な課題が解決され、成果を発揮していくことができると思います。

また、皆様が「横浜のために」、「横浜発」という高い意志を持って、先進的な取組に挑戦する姿勢は、横浜経済の大きな強みになっていると感じるとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。

ICTやIoTなどの技術革新により時代の変化が加速していますが、今後とも中小企業の皆様とご一緒に横浜の経済をより活性化させていきたいと思っています。



YMVで製作した
ブローチを市長にプレゼントしました



鶴見区工業会

(鶴見区)



平成 29 年度合同地区懇談会の開催

平成 30 年 2 月 22 日 (木)、(株)松尾工務店 5 階講堂において参加者 53 人で開催。アテネ・北京五輪 2 大会連続オール一本勝ちで金メダルの柔道家 谷本歩実 様を講師にお招きし、「柔の道の教え」の演題でご講演いただきました。



講演いただきました。



第 36 回ボウリング大会の開催

10 月 5 日 (金)、川崎グランドボウルで開催。今回は、13 社 26 チーム 78 人 (うち女性 19 人) の選手のほか応援・お手伝いで 14 人、総勢 92 人での開催となりました。2 ゲーム競技の結果、(株)ユー・アール・ディーチームが一昨年に続き 2 回目の団体優勝を飾りました。



第 36 回通常総会

平成 30 年度市長表彰式の開催

5 月 22 日 (火)、ホテル横浜キャメロットジャパンにおいて開催。通常総会後の市長表彰の被表彰者は 7 人。引き続いて行われた懇親会は総勢 100 人で、福引抽選会やカラオケもあり盛大に行われました。



平成 30 年度 日帰り研修の実施

11 月 9 日 (金)、参加者 28 人で開催。鶴見区内にある①「横浜プラスチックリサイクル工場」、②「横浜エコクリーン」、③「サイクルツリー」、④「A G C モノづくり研修センター 1 階・展示コーナー」、⑤「東京ストロベリーパーク」、⑥「東電・横浜火力発電所」と盛り沢山 6 か所を見学、最後にキリンビール(株)横浜工場レストラン「ビアポート」で懇親会が行われました。



平成 30 年度オープン経営セミナーの開催

8 月 3 日 (金)、キリンビール(株)横浜工場・総合棟ホールにおいて参加者 71 人で開催。鶴見区工業会・横浜商工会議所鶴見支部・(公社)鶴見法人会の三団体共催による開催で、経営学者で元法政大学大学院教授の 坂本光司 様を講師にお招きし、「日本でいちばん大切にしたい会社」のテーマでご



神奈川工業会

(神奈川区)



＜平成 30 年の活動＞

賀詞交歓会（全会員対象） 1月18日（木）

ホテル横浜キャメロットジャパンにて開催

横浜市経済局予算説明会 4月10日（火）

総会・懇親会（新体制発足） 6月7日（木）

永らく神奈川工業会にご尽力されてきた小菅会長から、経営委員会で活躍されていた（株）桐ヶ谷工業所の桐ヶ谷修幸氏にバトンが渡され、新たな体制による神奈川工業会の歩みが始まりました。

小菅会長のこれまでのご尽力とご苦勞に深く感謝いたします。ありがとうございました。



金融研修会 6月12日（火）



横浜信用金庫大口支店の濱崎支店長、井上次長の両氏をお招きし「金融 聞きたかったこと聞きたいこと」と題して勉強会を開催しました。

暑気払い 8月23日（木）

夏の宵、恒例の神奈川工業会暑気払いを開催しました。会員企業従業員の皆様の参加も得てバーベキューとビール、お楽しみ抽選会で大いに盛り上がりました。



キリンビアビレッジレストランピアポートにて

レッツサーキット 10月13日（土）

袖ヶ浦フォレストレースウェイにて、愛車の安全運転と緊急時に役立つ運転技術を習得するための講習会に参加し、運転の奥深さを体験しました。

横浜市新市庁舎建設工事見学会 10月19日（金）

羽沢横浜国大駅・横浜環状北西線見学会

10月25日（木）



物流や人の流れ、地域的な人口増などの変化が、神奈川工業会会員企業のビジネスチャンスに繋がることを期待しています。



みなと工業会

(西区・中区)



納涼事業 8月6日(月)

HOTEL THE KNOT YOKOHAMAにおいて、三代目三遊亭歌橋師匠(真打)をゲストに「あなたの知らない落語界の不思議な話～小噺を交えて～」と題してお話いただき、47名の出席で開催。納涼パーティーで懇親しました。



見学会 10月3日(水)

80年の歴史からスーパーコンピュータまで:「富士通テクノロジーホール」と1時間4万8千個を処理する巨大物流センター「羽田クロノゲート」を28名が研鑽、ギリシャ料理「レストランスパルタ」で懇親しました。



労働講座 11月27日(火)

働き方改革が企業の課題となっていることから、「時間外労働・休日労働に関する協定書・特別条項等の記載方法について」特定社会保険労務士平松洋子先生を講師に16名の出席で開催しました。



経済局との意見交換 8月29日(水)

関内中央ビルの経済局会議室において、経済局より、中村ものづくり支援課長他7名、当会より花本政策部会長以下10名が出席し、中小企業対策を中心に5項目を提言し意見交換を行いました。



経営者セミナー&忘年会 12月6日(木)

「気象予報士からみた地球環境の変化」と題して、NHK テレビ気象キャスター、平井信行氏をゲストに59名の出席で開催。終了後に忘年会を開催しました。



今期の異業種交流サロン 第126回～第132回

日常の経営課題などを中心に、6名から10名の出席で、朝食会の翌日に開催してきました。

今期の朝食会

第304回 4月17日(火) 41名

「経済局平成30年度重点施策について」

「IoTの取り組みの現状と導入企業の事例報告」

経済局ものづくり支援課長 中村 隆幸氏

第305回 5月15日(火) 39名

「最近の外国人技能実習生の受け入れ問題と

アイム・ジャパンの取り組みについて」

(公財)国際人材育成機構理事 渡貫 伸二氏

「関東職業能力開発センターの取組みについて」

ポリテクセンター関東 恵良 修二氏

第306回 6月19日(火) 40名

「経営雑感」～青年女性経営者が描く経営戦略～

海内工業㈱代表取締役 海内 美和氏

第307回 7月17日(火) 32名

「健康経営認証企業、事業所における取組事例紹介」

当会会員認定企業4社より事例発表

第308回 9月18日(火) 42名

「働く人のメンタルヘルス」～ストレス1日決算のすすめ～

横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター

センター長 医学博士 山本 晴義氏

第309回 10月16日(火) 45名

「働き方改革、経営上の課題と対応事例」

ヒューマシー人事労務研究所代表 正木 秀幸氏

第310回 11月20日(火) 38名

「省エネを考える」

～エネルギー消費の現状と省エネ技術について～

(一財)省エネルギーセンター

エネルギー使用合理化専門員 藤本 勉氏





斎藤会長

南事業会

(南区)



山下事務局長

麒麟ビール横浜工場見学

2018年10月24日(水)麒麟ビール横浜工場見学に行ってきました。12時に蒔田駅に集合し予定より早めの出発です。現地に30分程度で到着。



いよいよ見学スタート!です。横浜山手で日本最初のビール醸造が始まった横浜の歴史を中心にコンパクトにまとまっていた。続いて、実際の製造工程を見て行きます。

まずは、「原料工程」コーナー。

「ビールの原料は、麦芽、ホップ、水」などの説明を聞きながら麦芽を実際に試食させてくれました。苦みなどは全くありません。

「ホップ」は苦味と香りを出します。大半はチェコ産など使用しております。「ホップ」はビールの魂と言われており非常に神経を使っているようです。

続いてのコーナーは「仕込み工程」となります。

「仕込み1の糖化」では麦芽を砕いて、緩やかに温度を上げて、「もろみ」という麦のおかゆを作ります。

「仕込み2の麦汁ろ過」ではもろみをろ過し、最初に流れ出たものが「一番搾り麦汁」です。これが、一番搾り製法となり世界でたった一つの製法となるそうです。

さてここで、「一番搾り」についてのご説明と試飲タイムです。楽しみの一つですね。一番搾りと二番搾りの飲み比べで、あきらかに一番搾りの方が味が濃く甘みが強いのがハッキリわかりました。

「仕込み3の煮沸」ここでホップを加え、ビール独特の香りと苦味を生み出します。

続いては「発酵の工程」となります。十分に冷やした麦汁に酵母を加え、発酵タンクで低温発酵させます。

次に「貯蔵・ろ過」となります。1～2か月ほど、タンクで低温貯蔵し、おいしく熟成させます。

最後が「パッケージング工程」で、美味しさをとじこめ、安心な一番搾りをお届けします。これまでに全ての工程となり各工程ごとに品質基準を維持して常に最高のものを提供しています。

最終目的の試飲コーナーに到着です!なんと一人三杯まで試飲できるのです。



本日の試飲できるのは「一番搾り」、「一番搾り黒生」、そして本日発売の「一番搾りとれたてホップ生」です。三種ともとても美味しくアツという間に頂戴してしまいました。ご馳走様でした。

見学会の最後には、ここでもしか購入できないお土産を買って、工場見学は終了となりました。次の懇親会会場にバスは向かい最後は、和食 濱町上大岡店にて開催し、大いに盛り上がり解散しました。



港南区工業会

(港南区)



第 37 回通常総会

5月24日(木)上大岡のウィリング横浜にて開催されました。表彰式では、優良工業従事者市長表彰8名、会長表彰10名、工業団体役員市長表彰4名、退任される理事への港南区工業会功労賞表彰の表彰状と記念品の授与がなされました。懇親会では新入会員の紹介もあり、楽しい歓談の中、盛会のうちに閉会となりました。



バーベキューイベント

7月29日(日)稲村会長の工場前駐車場をご提供いただき、工場内のミニ見学会と併せ実施しました。



意見交換会

「港南区役所・港南区工業会会員企業による地元での人材確保と(女性就労希望者)雇用創出のための意見交換会」を9月14日(金)港南区役所会議室にて開催。横浜市経済局の平沼部長より他社の女性活用の事例もまじえたレクチャーをしていただいた後、グループに分かれ活発な意見交換がなされました。女性の生の声が聞けた有意義な会でした。



秋季研修旅行 10月28日(日)～29日(月)

1泊2日の日程で研修旅行を実施しました。日

光鬼怒川温泉を中心に周辺の産業遺産見学と、地元B級グルメを堪能し、物産館にて特産品を買い求めるなど、会員同士気楽に楽しめる行程でした。



和道会 書道 11月8日(木)・12月4日(木)

「年賀状は手書きで!」と題して書道教室を開催しました。和やかな雰囲気の中にも、凛とした緊張感があり集中した時間が過ごせました。

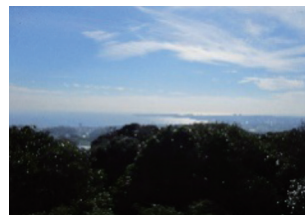


新市庁舎建設現場見学会と懇親会

11月9日(金)現在建設が進められている新市庁舎の建設現場見学会を実施、その後懇親会を開催しました。

自然を楽しむ会 11月17日(土)

10名の参加で三浦富士から武山までハイキング&ミカン狩りを実施し、親睦を深めました。



セミナー&忘年会 11月27日(火)

「消費税軽減税率対策セミナー」を開催、その後の忘年会で一年を締めくくりました。





横浜西部工業会

(保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区)



平成 30 年度後半に実施した主な事業をご紹介します。

経営者セミナーを開催

9 月 19 日（水）J A 二俣川支店会議室で、「今こそ本気で始めよう社内研修塾～企業が永続するために～」と題して、牧野経営労務コンサルタント事務所所長の牧野正雄氏から人材の育成には経営者の本気度が問われることの詳細説明、人の活用に係る事例等の話を伺いました。



JA 二俣川市支店会議室

親睦研修旅行

10 月 18 日（木）、日帰りで神奈川県内へ研修旅行に行きました。まずは、当会会員の㈱トノックス平塚工場と大磯町にある旧吉田茂邸を見学しました。株式会社トノックス平塚工場では、官公庁向けの特種車両（警察車両・緊急車両）の生産について、現場説明を交えて工場内見学を行いました。大磯町にある旧吉田茂邸の見学では、参加者全員が時間を忘れるほど関心をもって、大きな屋敷を見学しました。



株式会社トノックス平塚工場



旧吉田邸

地域セミナーを開催

11 月 15 日（木）横浜税関、神奈川県警本部を見学しました。最初は横浜税関。1934 年竣工、愛称「クイーンの塔」などの説明とともに、幕末の横浜港開港による運上所の役割、歴史的変遷などの説明を受けました。



横浜税関

次に、神奈川県警本部では、1 階広報センターで、タッチパネルにより、クイズやゲームを楽しみながら警察の仕事について学んだあと、交通管制センター及び通信指令室へと向かいました。通信指令室前では、ラジオ放送のための各局ブースがあり、横浜の交通情報がここから発信されているとの説明を受け、「アナウンサーも交通管制盤の見方や横浜の地理に慣れないと瞬時の放送はできないな」と感じた次第です。



神奈川県警本部

健康管理セミナーを開催

12 月 6 日（木）J A 二俣川支店会議室で、「心の病気と企業経営について～仕事と生活の調和の重要性～」として、医療法人順正会 横浜鶴ヶ峰病院管理部の副部長 高井克敏氏から、講義を受けました。心の病気の理解と対応、企業経営とは人が動かすものであり、毎日を健康で暮らすためにできること、職員とのコミュニケーションを日々図っていくことなどが重要との話を伺いました。



JA 二俣川市支店会議室



長谷川会長

磯子事業会

(磯子区)



斉藤事務局長

第42回磯子まつりに参加

9月30日、磯子区主催の「磯子まつり」が磯子区役所前で開催されました。明け方まで強い雨が降り続き開催が危ぶまれる中、磯子事業会の関係者は早朝から準備開始。想いが届き、開始時には晴れ間がのぞくお祭り日和になりました。お子様向けのポップコーン、大人向けに事業会に所属する各企業のノベルティ等を配布し、「磯子まつり」の盛り上げに一役買いました。



施設見学会を開催

10月15日、me-byo valley BIOTOPIA（足柄上郡大井町）とアサヒビール神奈川工場（南足柄市）を見学しました。BIOTOPIAとは「BIO」（いのち輝く社会の実現）と「UTOPIA」（未病改善の取り組みを実現する理想的な里）を表現。また、me-byo valley（未病バレー）という言葉には神奈川県西地域全体から未病改善を「集積」「創造」「発信」し、健康な社会を実現するための場所にしていきたいという思いが込められています。参加者一同、自然の恵みが集まる「食」、身体を整える「運動」、五感を解放する「癒し」を楽しく体験するとともに健康であることの有難さを実感しました。その後、アサヒビールへ場所を移し、搾りたてのビールとバーベキューに舌鼓を打ち、メンバー間の懇親を深めました。



事業人のつどい

会員相互の親睦と情報交換のため、11月8日に「事業人のつどい」を、小林磯子区長をはじめ区幹部の参加もいただき、IHIゲストハウスで開催しました。

磯子警察署警備課長の村山様から大規模イベントに向けてのテロ・災害対策に関する警察の取組みのご紹介、その後、林香寺住職・RESM新横浜睡眠呼吸メディカルクリニック副院長の川野泰周様に「ストレスマネジメントとマインドフルネス」に関する講演をいただきました。

講演中、川野先生のリードに従い参加者は「呼吸瞑想」を実践し、ストレスや疲労を取り払い、脳がクリアになることを体感。ストレス、プレッシャーと上手く付き合う方法を伝授いただきました。





横浜金沢産業連絡協議会、横浜市金沢団地協同組合

金沢区工業団体連絡会

(金沢区)



渡邊事務局長

職住近接に向けた取り組み

LINKAI 横浜金沢（横浜金沢産業連絡協議会、横浜市金沢団地協同組合）では、平成 27 年度から横浜市大、横浜市、金沢区と協力して、職住近接のしくみを構築する「*ココチャレプロジェクト」に取り組んでいます。

（*ココチャレとは：「ココからチャレンジ」の略
地域限定の主婦層の就業近接モデル創設のため、企業と主婦層に向けた雇用・就労に必要な支援を行う事業）



ココチャレワーキング会議

このたび、平成 31 年 1 月から金沢センターシーサイド名店会（並木ラボ）において、並木連合自治会の協力を得て、会員企業の求人情報を掲示できることになり、また、求人情報の掲示を回覧板等により周知していただくこととなりました。

今回、求人情報を掲示していることを、金沢シーサイドタウン並木地区の皆さんに知っていただくために、11 月 19 日（月）から 22 日（木）までの 4 日間、並木ラボにおいて「LINKAI 横浜金沢」企業を対象とした「ココチャレウィーク」イベントを開催し、主婦の方を中心に 140 組に参加していただきました。

イベントでは、LINKAI 企業で働く女性のビデオ放映や写真展示、就労支援セミナー等が開催され、座談会では主婦の方と様々な観点から意見交換をしていただきました。また、参加者の声から、隣接する並木地区でさえ、LINKAI 横浜金沢（産業団地）の認識度は低く、さらに P R の必要性を認識しました。



ココチャレウィーク（並木ラボ）

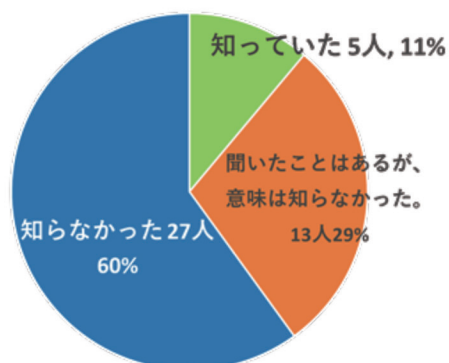


LINKAI 求人情報の掲示



〔参加者の声〕

LINKAIを知っていますか？





横浜金沢団地協同組合



鳥浜町美化活動へ2つの市長表彰受賞

1 鳥浜愛護会活動

平成30年11月9日(金)横浜市情報文化センターにおいて、平成30年度横浜市民公園愛護会表彰式が開催され、横浜市金沢団地協同組合の榎本理事長が、鳥浜公園愛護会会長として表彰されました。

季節の花々が咲き、運動やイベント等ができる明るく広々とした憩いの公園となるように、平成15年から活動を始めました。現在も約1,300坪の大きな公園を、団地協同組合の委員会、有志及び県立金沢養護学校の生徒の皆さんにより整備されています。



2 鳥浜工業団地ハマロードサポーター活動

(1) 鳥浜町一斉清掃

平成27年10月から始めた月1回の鳥浜工業団

地一斉清掃は、早くも4年目を迎えます。

「美しい工業団地」にしたいという企業、個人それぞれの思いが、毎回約50個のゴミを集積する行動となっています。

(2) 鳥浜バス通り花壇活動

11月の鳥浜町の風物詩であるバス通りの花の植栽が、一斉に始まりました。組合から配布された3,600本の花の苗が、鳥浜町バス通りに沿った180個の花壇に企業の皆さんの手により、一斉に植えられました。この活動も14年目、また来春も、工業団地で働く人、また訪れる人々へ憩いを与えてくれることでしょう。

これらの、美化清掃活動が評価され、平成30年8月27日、横浜市長から感謝状が授与されました。



バス通り花壇活動



(一社)横浜北工業会

(港北区・緑区・青葉区・都筑区)



横浜北工業会の持続的発展を目指して 平成 30 年度事業の推進

北工業会は、総務、組織広報、事業企画、工業振興、厚生 の 5 委員会に理事は必ず所属し、工業会の運営方針の共有や事業を検討し実施しています。

今年度の傾向としては、月 1 回の定例勉強会（ランチョンミーティング）が「働き方改革」など時宜に応じたテーマの要望が増え、年間 11 回では収まらず 15 回開催になる予定です。

また、北杜市との交流も今年で第 4 回となり気兼ねなく話ができるこなれた雰囲気になり、地域が違うものの、ものづくり企業の課題や成功事例などを議論する場になっています。

年間を通じて様々な形での交流の場を増やすことにより、少しずつでも今まで参加していただけなかった会員企業の掘り起こしとなって、工業会として一体感が高まることを目指しています。

以下 30 年度主な事業の実施状況を紹介します。

1 手づくりHPの運営（今年度：検討スタート）

(1) 一般記事の検討項目

- ① 事業開催予定・会報掲載
- ② 会員企業 P R ページとのリンク

(2) 会員専用ページ(パスワード設定)の検討項目

- ① 理事会、総会、行事参加案内・申込み様式
- ② 議事内容の周知

2 ランチョンミーティング

平成 27 年 8 月から中小企業の経営課題や時事などのテーマを、昼食をとった後に講師との質疑応答を通じ、会員の実践的な対応策の検討や勉強の場として事業開始して、今年度で 50 回目が目前となりました。



(平成 30 年度の実施状況)

4 月：第 1 回「中小企業の支援策と活用を考える」

5 月：第 2 回「事業継承の課題を法的に考える」

6 月：第 3 回「中小企業の現場強化を考える」

7 月：第 4 回「再生型事業継承を考える」

第 5 回神奈川法人会合同セミナー「A I」

8 月：「セクハラ・パワハラ」（台風で中止）

第 6 回「ISO 支援・水処理システム紹介」

9 月：第 7 回弁護士会セミナー「働き方改革」

第 8 回「労基署・ハローワーク：働き方改革」

10 月：第 9 回「収益向上と生産管理・職場改善」

11 月：第 10 回「セクハラ・パワハラ」

第 11 回「中小企業が働き方改革で

やるべきこと」

12 月：第 12 回「台湾、中国、欧米の現状」

2 月：第 13 回「障害者雇用を考える」

3 月：第 14 回「人材不足対策」

第 15 回慶応大学経済セミナー

3 北杜市企業との交流会

今年度は北杜市から 12 人が来浜され、午前中は北工会員企業視察、午後からは北工 16 人が参加し、鋼材共同購入、海外視察など具体的な事業について意見交換が行われました。

・平成 30 年 10 月 24 日（水）9：30～15：30

北工会員企業視察

（オウミ株式会社、ニッパ株式会社）



意見交換会風景

集合写真



戸塚泉栄工業会

(戸塚区・泉区・栄区)



2018年11月9日から1泊2日の日程で、「地域振興を担うオンリーワン企業」をテーマに、福島県・茨城県から選りすぐりの企業を視察した。例年どおり、黒田憲一会長をはじめ20名が参加した。

品川駅6時半集合と早朝にもかかわらず、無事一人も欠けることなく出発した。常磐線の泉駅からは、貸切バスで最初の訪問地である「日産いわき工場（福島県いわき市）」に向かった。1994年に稼働を開始しており、日産グループでは日産車体九州に次いで新しい工場である。高い精密性と製造技術を要する大型のVQエンジン（V型6気筒）を一貫生産しており、2016年からはVRエンジンの生産も始めた。VQエンジンはフーガやスカイライン、フェアレディZなどに搭載されている。201,500平方メートルの敷地に750名が働き、最新鋭の設備が導入され、エンジン組み立てラインは高度に自動化が進んでいる。2011年の地震の影響で地盤沈下によって建物や設備等に被害が出たが、懸命な復旧作業により2か月後には完全復興した。

次に訪問したのは、「Jヴィレッジ（福島県双葉郡広野町・楡葉町）」である。1997年に日本初のサッカーナショナルトレーニングセンターとして開設された。サッカートレーニング施設としては日本最大規模である。東京電力が総工費130億円を負担し、福島県に寄贈した。総面積は49ヘクタールと広大である。2011年の地震では大きな被害はなく、避難所として機能していた。しかし福島第一原子力発電所事故が発生し、同原発から20キロメートル圏内にあることから避難指示区域、後に警戒区域に入った。3月15日、施設は国に移管され、陸上自衛隊のヘリコプター機体および隊員が放射性物質を除去するための除染場所となり、同月18日には政府、東京電力、陸上自衛隊および警察や消防が原発事故に対応する「現地調整所」を設置し、前線拠点として本格的に運用を開始した。本年7月に一部営業再開した。昼食を施設内のレストランでとった後、天然芝グラウンドや5,000人収容可能なスタジアム、それに最近完成した全天候型練習場などを見学した。また建物の4階にある蹴球（サッカー）神社にお参りをした。2019年4月に全面営業再開を目指している。

初日の視察を終え、奈良時代からの歴史を誇る（と言われる）いわき湯本温泉に泊まった。この温泉街の西側には日本中央競馬会競走馬リハビリテーションセンターがあり、馬用の温泉入浴施設がある。「馬の温泉」と呼ばれ、TVなどでよく放映されているようだ。

2日目は舟納豆で知られる「丸真食品（茨城県

常陸大宮市）」を訪問した。同社は高級志向の商品づくりをしており、通信販売にも力を入れている。本来は工場見学をした後に、敷地内の店舗で商品を購入する予定をしていたのだが、袋田の滝の紅葉へと向かう渋滞に巻き込まれてしまい、時間が無くなってしまった。その後の行程を考えて、残念ながら工場見学をすることができなかったのが、今回の研修旅行で唯一の残念なできごとだった。

気を取り直し、最後の訪問地「木内酒造合資会社（茨城県那珂市）」へ向かった。社員の夏場の雇用確保のために地ビール醸造に参入し、昭和30年代で栽培が終了していた日本のビール麦「金子ゴールデン」を地元の農家の方々とともに復活生産し、ジャパニーズエール「ニッポニア」として販売している。また横浜DeNAベイスターズ球団「BAYSTARS LAGER（ベイスターズ・ラガー）」も同社が製造している。最近はウイスキー造りにも取り組んでおり、2020年ごろには地元産100%の原材料を使った純和製ウイスキーを売り出す計画である。同社内にある食事処で昼食をとり、水戸駅で観光バスと別れて、戸塚に向かった。

いつものことだが、多くを学び、また参加者間の交流を深めることができた貴重な2日間であった。





横浜青年経営者会

「定例会1」

6月22日に「自分の会社を知る～計数から学ぶ管理の基本」と題して、オフィスK4の岸嘉男様よりご講義いただきました。経営者にとって必要不可欠な計数管理や財務管理における数字の見方やテクニックを学び、また横浜市経済局様より財務分析診断についてご説明いただき自社における経営数値の改善につながる機会となりました。



「定例会2」

9月12日に「新しい町工場のビジネスモデルを創出」をテーマに精力的な会社運営をされている東京都墨田区の浜野製作所様の工場を視察。幅広い加工に対応した最先端の設備や浜野社長様からの熱いご講義をいただき、刺激のある定例会となりました。



「家族親睦会」

7月15日に例年どおり「横浜スパークリングトワイライト」に合わせてホテルメルパルク横浜にて開催しました。今年は193名と過去最高の人員を集め大変盛大なイベントとなりました。円卓で美味しい食事をいただきながら、恒例の「えんにち」では輪投げや射的で子供たちの笑顔が溢れ、ステージマジックでは会場が驚きと笑いに包まれました。そしてロケーション抜群の花火観賞の後には、締めめのビンゴ大会もあり、家族で楽しめる盛り沢山のイベントで大いに盛り上がりました。



P8-P9

市長との「ぬくもりトーク」を紹介しています。





2019年度 新入社員合同研修のご案内

市工連「新入社員合同研修」では、講義形式の研修（マナー研修、電話応対、異世代コミュニケーション、グループ討議等）や帆船日本丸でなければならない体験研修（マストに登る訓練、カッター訓練等）を通してチームワークの重要性や協調性、チャレンジ精神なども養います。企業人としての自覚と責任感を引き出し、組織の新しい力を育てます。ぜひご参加をご検討ください。

※ 2019 年は、日本丸が改修工事のため宿泊と、甲板磨き、マスト登りの訓練は行ないません。

日本丸での研修は、カッター訓練と結索訓練のみにになります。



日 時：2019 年 4 月 15 日（月）～4 月 16 日（火）の 2 日
会 場：4 月 15 日（月）：帆船日本丸・訓練センター及び周辺海域
4 月 16 日（火）：産業貿易センタービル地下 1 階 B102 会議室
定 員：50 名（両日とも受講できる方、先着順）

受 講 料：地域工業会会員企業 12,000 円／1 名（消費税込）

お申込み：（一社）横浜市工業会連合会

TEL.045 - 671 - 7051 FAX.045 - 671 - 7321

担当：斎藤 E-mail：soumu4@y-shikouren.or.jp

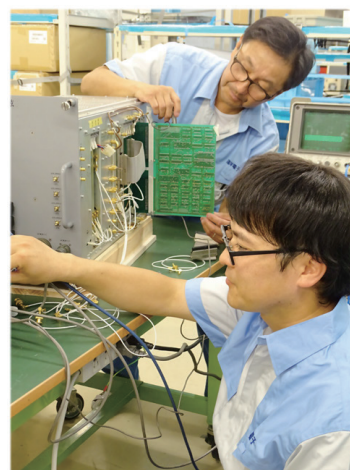
申込書は、HP（<http://www.y-shikouren.or.jp>）からダウンロードできます。



情報通信テクノロジーのスペシャリストとして

創立以来、約半世紀にわたり一貫して通信機器などの各種電子機器を手掛けてきた海洋電子工業は通信テクノロジーのスペシャリスト企業として誠心誠意、顧客満足志向を一念に発展を続けてきました。

豊富な技術ノウハウをベースに現在ではその守備範囲を広め顧客のニーズに柔軟に対応した製品の開発・設計・製造・整備業務を全国規模で展開しております。



本社

〒 236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 12-51
TEL 045-771-1241 FAX 045-771-1248

広島事業所

〒 737-0161 広島県呉市郷原町字一ノ松光山 2507-915
TEL 0823-77-1241 FAX 0823-77-1435

佐世保事業所

〒 857-0401 長崎県佐世保市小佐々町黒石 339-61
TEL 0956-68-3411 FAX 0956-68-3449

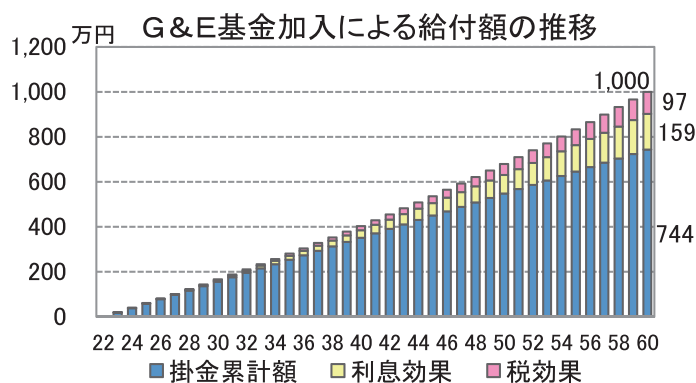


海洋電子工業株式会社

税制優遇を活用した、福利厚生の拡充方法があります！

G&E企業年金基金の加入で、効率的・有利に退職金準備ができます。

掛金は全額損金算入、積立金の運用収益も非課税ですので、
自社引当(課税対象)に比べて、退職金コストを削減することができます。
さらに、従業員は老後の年金受給が可能となり、将来の安心に繋がります。



例えば、22歳入社者の定年退職金1000万円は
G&E企業年金基金なら、744万円の掛金(累計)で
準備可能。即ち、

退職金費用を約25%削減 できます。

(実効税率30%、付与利率1.5%として試算)

ご相談は、基金事務局まで

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー1階
電話 03(5405)2403 FAX 03(5405)2404
URL: https://www.nenkin-kikin.jp/g_and_e/
E-mail: g_and_e@jcga-kikin.jp



G&E企業年金基金

資源と地球環境に関わるお仕事をされる、
皆様のための企業年金

一般社団法人横浜市工業会連合会様をはじめ、
横浜市内の複数の事業所様が加入する基金です。



横浜市が実施する
市内中小企業向けの
福利厚生サービス

「ハマふれんど」は横浜市勤労者福祉共済の愛称です。

健康経営やワーク・ライフ・バランスの充実を
サポートする豊富なサービスを用意しています。



出会い

マッチングバスツアー
結婚相談所割引
婚活パーティー

学び

スキルアップセミナー
趣味教養講座
新人研修

介護

介護用品補助
施設優待

育児

保育サービス補助
子ども教育

レジャー 優待

遊園地・水族館
宿泊施設
映画館

健康

フィットネスクラブ
人間ドック
マッサージ

受け取る

結婚・出産祝金
入学祝金・祝品
加入報奨金

職場 活性化

スポーツ大会
飲食店割引

ひとり月々 **500円**で 二親等以内の
[事業者負担] **ご家族もご利用可能！**

※加入は、横浜市内にある従業員300人以下の事業所（企業・商店）単位です。 ※一部利用数・期間等が限定されているサービスもあります。

この広告に記載の内容は平成30年12月現在のものであり、予告無く変更する場合があります。

資料請求・ご質問はこちらまで。お気軽にご連絡ください。

横浜市勤労者福祉共済 ハマふれんど 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7 横浜市技能文化会館 5F

☎ **045-662-4435** 受付時間
平日 8:45～17:15

PC・スマホサイトで
サービス内容をご覧いただけます。
資料請求もできます。

<https://www.hamafriend.jp>

ハマふれ

検索